

議会の動きをみなさまにお伝えします

加西市議会だより



熱烈指導!佐渡裕さん
世界的指揮者のグラスバンドクリニックに感激

市内4中学校と北条高校の吹奏楽部員が熱のこもった指導を受けました。

平成 28 年度決算を認定しました (P2~3)

- 住宅施策による定住促進の現状 (P4)
- 質疑・一般質問 (P5~9)
- 9月定例会の議案審議 (P10~11)
- 加西市議会発足 50 周年特集 (P14~15)
～市立加西病院～

11
2017
NO. 153

平成 28 年度決算を認定

総務 建設

9月定例会では、平成28年度決算案件（一般会計、特別会計、企業会計）10件が上程されました。総務委員会と建設経済厚生委員会に分かれて3日間審議を行い、認定しています。

一般会計の決算額は、歳入203億6,549万3,332円、歳出203億974万8,300円、翌年度への繰り越し3,369万1,000円を差し引いた実質収支額は2,205万4,032円となっています。

各委員会において、執行者に対し述べられた意見・要望の一部をお知らせします。

一般会計

ふるさと納税

- 返礼品目的で納税していただくだけではなく、本来の趣旨に立ち返り、加西市に納税してよかったと感じていただけるよう、実施する事業、特に多くの方に支援を得て行うべき事業等について、十分なPRに努めていただきたい。



北条高校

- 北条高校アフタースクールゼミについて、受講者アンケートによる主観的な分析だけでなく、客観的な指標により、当該事業の成果を広く市民に対し、発信していただきたい。

観光

- 問** 滞在型観光バスツアー助成金制度について、どのように広報されているか。



答 観光まちづくり協会において、「かさい観光ナビ」というホームページを開設しており、そこで助成金交付要綱を掲載し、周知しています。

- 滞在型観光バスツアー助成金制度の広報については、観光まちづくり協会だけに任せるのではなく、市としてもPRの拡充に努めていただきたい。

加西市PR

- シティープロモーション動画は大変よくできている。多くの方に見てもらうため、トップ画面に掲載する等、ホームページの改善に努めていただきたい。

移住・定住

- 移住・定住施策について、市内のみならず、周辺地域等への対外的なPRを検討していただきたい。

若者応援

- 若者応援事業について、市は、地方創生推進交付金を使って土台を作っているため、今後事業を継続していくにあたっては、市が新たに負担をしつづけることのないよう進めていただきたい。

職員研修

- 問** 職員の手話研修について。

答 現在は、手話というものの存在意義の理解や、不自由な方々に対する職員としての心構えを、まずはしっかりと徹底していきたいと考えています。その後、さらに理解を深めていくような取り組みを行いたいと考えています。

- 引き続き、職員への手話研修の取り組みに努めていただきたい。



地域防災

- 地域の防災力の強化、各町の財政力等を鑑み、消防団に係る装備品、資機材、ポンプ庫等の充実や費用負担軽減に向けて、検討していただきたい。

健康

- 問** 歩いてみたくなるような環境づくりについて。

答 地域ごとにウォーキングコースの設定、ウォーキングマップの作成、看板の設置などにより、意識付けや歩きたくなる仕掛けを行っています。また、市街地のポケットパークや公園などに健康遊具を設置し、楽しんで歩けるようなまちづくりにも取り組んでいます。



- 運動ポイント事業は、普段から歩こうということへの意識付けとして、すごくいい事業であると考えている。

市役所窓口

- 1階窓口は、転入される住民が接する最初の窓口であるため、様々な市のサービスや事業等の案内も含めて、わかりやすく説明するようにさらに努めていただきたい。

マイナンバー

- 生活していく上でマイナンバーは必要なものであるため、個人番号通知カードを紛失することが無くなるように広報していただきたい。

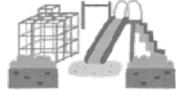
地域振興

- 産業振興条例や産業振興計画ができたこともあり、産業団地の企業や中堅企業の支援も非常に大事だが、小規模企業や事業者への支援に結び付くような施策を展開していただきたい。
- 生産調整廃止に伴う問題等も含め、農事組合法人などの農業法人の運営等に対する指導を徹底していただきたい。
- 若者定住促進住宅補助制度の補助対象条件で合計年齢80歳以下としているものを、子育て支援という点から、就学前の子供がいる世帯も対象とするように検討していただきたい。



都市整備

- 雑草処理等の道路維持については、地域のまちづくり活動等も含めた協力体制も工夫しながら、安全確保のためにしっかり対策を取り対応していただきたい。
- 丸山総合公園については、市民だけではなく市外の方からも良い公園であると評価されるように、維持管理に努めていただきたい。
- 廃屋に近いような市営住宅については、除却に対しての財政支援や財政措置を有効活用できるように研究していただきたい。また、市営住宅の空き状況を解消して活用するために、例えば福祉住宅としての活用なども含めて打開策を検討していただきたい。
- 鶉野飛行場跡地周辺の戦争遺跡整備や国道等と関りのある周辺道路整備については、様々な事業との兼ね合いや財政的な面等もしっかりと勘案しながら進めていただきたい。



環境

- まだ知られていない希少生物や貴重な生息場所等の調査を含む動植物生態調査を実施いただくとともに、約20年前の調査と比較検討できるような資料づくりなどの取り組みも進めていただきたい。
- 粗大ゴミの拠点回収は、市内全地区で取り組めるようにしていただきたい。



教育

- 修学旅行において、旅行先の地域において活躍しておられる加西市出身の方との交流や、加西市にゆかりのあるスポットでのPR活動などについて検討していただきたい。

その他

- 市民ふれあい提案箱の設置場所については、広く市民から意見を聞くという観点から、わかりやすい場所に設置をしていただきたい。
- 市の収支状況について、引き続き、注視していただき、その都度、監査の立場から指摘をしていただきたい。
- ホームページについて、多くの方に見てもらうように、アクセス数増減の分析等を行っていただきたい。

介護保険特別会計

- 健康な人が増えることが期待できる、いきいき体操を中心としたつどいの場の創設は、いい取り組みであるので、各町での立ち上げの支援に努めていただきたい。



後期高齢者医療特別会計

- 低所得者への特例措置が廃止されることに伴い、代替措置として準備基金等を活用しながら独自の軽減措置を進めるべきと考える。

宅地造成事業特別会計

- 条件の不利なところほど公が事業を進めるといふことの検討の余地を残していただきたい。

農業共済事業会計

- 事業の広域化について、いい点や悪い点などを現場からもしっかり見定めて意見や提言できるような体制をとっていただきたい。

水道事業会計

- 配水池や耐震管等の整備は、積立金の実態なども考慮し、基本的にどうあるべきかしっかりと財政的な手立ても含めて検討しながら進めていただきたい。

病院事業会計

問 地域包括ケア病棟の収入面での影響について

答 入院基本料が変わらない設定となっている地域包括ケア病棟に、急性期治療がほぼ終了している患者さんを転棟させることで、病床稼働率を上げ増収を図っていきたく考えています。また、平成29年10月からはさらに1病棟ふやすことにしています。



- 地域医療室の相談業務等の活動内容がわかるように事務報告書に記載していただきたい。
- 経営改善は、医師の確保だけで解決できるものではなく、職員の専門性を高め、病院事務局のレベルを高めることで、医師や看護師との関係も深まってくることが期待できるため、病院事務局の体制を強化していただきたい。
- 病院の中にある資源を有効に活用して、患者を取り戻す施策を検討して、再建していただきたい。

《決算審議より》住宅施策による定住促進の現状

1 人口動態（社会・自然増減）

(単位：人)

項目		年度	H 25	H 26	H 27	H 28
社会増減	転入		1,164	1,143	1,187	1,307
	転出		1,446	1,321	1,446	1,400
	増減		△ 282	△ 178	△ 259	△ 93
自然増減	出生		314	287	270	302
	死亡		563	555	535	555
	増減		△ 249	△ 268	△ 265	△ 253
住民登録人口	総人口		46,141	45,695	45,171	44,825
	前年比増減			△ 446	△ 524	△ 346

※ 転入が増加している。

※ 減少が少なくなっている。

2 若者定住促進事業

①新婚世帯向け家賃補助金 件数

(単位：件)

項目	年度	H 25	H 26	H 27	H 28	合計
市外からの転入		6	21	14	16	57
市内からの転居		27	31	43	49	150
合計		33	52	57	65	207

※ 市外からの転入に効果があり、新婚世帯の転出の歯止めにもなっている。

②若者世帯持家促進補助金 件数 (H 26.3.31 までに契約締結した住宅が対象)

(単位：件)

項目	年度	H 25	H 26	H 27	H 28
市外からの転入世帯 (50万円)		6	7	4	1
市内からの転居世帯 (25万円)		12	33	14	
合計		18	40	18	1

※ ①の家賃補助金利用者が、②③の持家補助金補助へ移行して持家化し定住。

③若者定住促進住宅補助金 件数 (H 26.4.1 以降に契約締結した住宅が対象)

(単位：件)

項目	年度	H 27	H 28
市外からの転入世帯 50万円		0	7
市内居住世帯 (地縁有) 35万円		14	49
市内居住世帯 (地縁無) 25万円		5	19
合計		19	75

※ 地縁者のUターンなどによる定住が増加。

※ 増加傾向

3 宅地開発 (H 29.9 月末現在)

①新住宅団地ベルデしもさと <H 27 年 4 月分譲開始>

- ・ 28 区画完売 (市外居住者が 14 区画購入)
現在 28 区画で 99 人居住 (市外からの転入 51 人)
子供有は 21 戸 小学生以下 41 人 (未就学児 37 人)

②西高室土地区画整理事業 <H 28 年 11 月分譲開始>

- ・ 保留地販売 71 区画 売却済み 65 区画 6 区画募集中

③尾崎町北条高校前地区での住宅整備

- ・ 販売予定 13 区画 H 30 年春の販売に向けて事業者で調整中

④宇仁地区新規居住者向け住宅

- ・ 新規居住者住宅建設 4 戸 (市外からの転入 2 戸)



9月定例会

質疑・一般質問

9月11日、12日の本会議では、質疑2名、一般質問9名の議員が議案や市政全般にわたり活発な質問を行いました。(発言順に掲載)

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム(12月中旬掲載予定)にてご覧いただけます。



公園の整備について

一般質問



中右 憲利 議員
(21 政会)

問 丸山総合公園整備事業の具体的な計画について。

答 今年度、大型複合遊具2基と園路にソーラーLEDの街灯6基の設置を予定しています。来年度には、駐車場に約50台分のグラスパーキングを整備し、園路に約300mのカラー舗装を予定しています。

問 丸山総合公園を多くの人々が利用しているが、ウッドデッキの老朽化が著しい。あちこちに「危険」「注意」の表示があり、特にひどいところはロープを張って

立ち入り禁止にしてある。事故が起きやすい大変危険な状況と思うが、今後どう対応されるのか。

答 ウッドデッキについては、経年劣化が相当進んでいる現状です。現在、抜本的な改修案として、腐食がなく維持管理も容易な擬木を利用したリニューアル計画を考えており、県担当課に補助事業メニューの有無、その採択の可能性について協議を行っています。

問 アクアスカサイについて、管理人の方は、毎日芝や草を刈って手入れをされているが、指定管理者の軽トラックはなく、刈った草などを運ぶのに自分の軽トラックを使っている。市と指定管理者で協議し、古い軽トラックでも支援できないか。

答 基本的に管理方法の詳細については、指定管理者に一

任していますが、効率的な車両の共同使用という観点から、指定管理者と協議したいと考えます。

問 グラウンドゴルフなど大きな大会では、駐車場が足りない問題がある。市として対策を考えるべきと思うがいかがか。

答 アクアスカサイでの大きなイベントの開催に際し、駐車場が不足していることは認識し、その必要性は理解しています。対策として、新たな土地の購入、取得が必要です。今後財政局と協議しながら検討してまいります。

■その他の質問項目

- ・主要道路及び通学路の整備について
- ・北条旧市街地元気なまち再生事業について
- ・加西市の教育について

県道、市道の整備等について

一般質問



織部 徹 議員
(21 政会)

問 県道野上河高線の拡張整備について、昨年9月に宇仁地区6町の区長、野上町区長、宇仁郷まちづくり協議会会長及び市議会議員が押印し、加東土木事務所長に要望書を出されているが、県の整備計画に上がらないと整備は難しいという答弁があった。

本年9月、同様の要望書が出されているが整備は難しい。

以前に、県道野上河高線で青野町を抜け、中国道の上を越す手

前の40メートルくらいが、特に道幅が狭く、自動車が交差しにくいので、整備計画に上がらなくとも緊急整備として、道路の北土手の部分を立ち上げ、道幅を広げられないかという質問をし、検討する趣旨の答弁をいただいたと思うが、その後の進捗についてお聞きしたい。

答 県からは、今年度中に道路の将来計画を踏まえた、部分拡幅の検討に向け、調査測量を実施する意向であるとの返答がありました。約40メートルという限られた区間ですが、早期の整備に期待をしています。

問 市道脇の土手は、かなりの草が生い茂る箇所が多くなっている。道普請や田んぼの持ち主の作業に併せて、刈っていただいていたが、

高齢化が進んでいることもあり、刈り取りされず、通行にも支障がある箇所も多く、また景観も悪くなっているがいかがか。

答 市道の草刈りにつきましては、幹線道路で市内の24路線、延長で言いますと30キロ余りを業務委託し、年1回、また場所によっては2回、草刈り作業を行っているところです。

各自治会の共同作業等でもご協力いただいておりますが、高齢化が進んでいる状況があります。

市では、自治会による市道の草刈り活動の支援ということで、混合ガソリン20リットルを、要望により支給する制度を今年から設けました。

今後とも地元自治会と連携協力しながら、良好な道路環境の維持を目指したいと考えています。

加西市の財政について

一般質問



松尾 幸宏 議員
(自民の風・誠真会)

問 28年度決算の一般会計では、実質収支額2,200万円の黒字、単年度収支額では6,200万円の赤字との数字が出ており、実質単年度収支は6億6,000万円の赤字だが、加西市の財政は健全なのか、それぞれの数字の意味についてお尋ねする。

答 実質収支とは、歳入歳出から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した決算額です。

単年度収支は、その実質収支から前年度の実質収支を差し引いた

額で、当該年度だけの収支を見るものです。

実質単年度収支とは、財政調整基金への積立金、債務の繰上償還等、歳出として出るが、実質的な黒字の要素で、これを差し引いたものが実質単年度収支になります。また実質単年度収支が赤字であれば、今までの蓄え等を取り崩した形の決算になります。

ただ、大きな事業のために基金を積み、それを取り崩しその事業に充てたり、緊急的な大規模事業に着手する場合、一時的な赤字が発生するが、それ自体の善し悪しは、一概に言えないと考えます。

問 健全化判断比率、資金不足比率は財政が健全との数値だが、28年度末の財政調整基金残高16億4,000万円の内、既に6億数千万円の取り崩しがある。

今の状況で29年度は財政調整

基金を積み立てる決算ができるのか。

答 今年度は、27年度、28年度で整備を進めてきた道路修繕事業に一定の効果が出ていることや、産業振興促進奨励金の交付が一区切りついたこと等、市単独事業の歳出が前年度よりも相当減少しています。一方、歳入面では、市税の徴収率が28年度に続き、今年度も昨年度を上回る収納率を維持しています。

ふるさと納税もお礼の品を拡充し、加西市ゆかりの方々への積極的なPR等、増額に向けた取り組みを継続したいと考えます。

また、加西インター周辺の産業団地の整備を進め、今後企業誘致等により固定資産税や法人市民税、市民税等の増収につなげ、歳出の抑制とともに、持続可能な財政運営に努めてまいります。

加西病院の取組みについて

一般質問



土本 昌幸 議員
(公明党)

問 医師数の減少により、収支が悪化したとの報告がありました。北播磨総合医療センターは黒字転換し、病床稼働率も90%を超えているとの報道がありました。医師の確保と収支の改善策についてお伺いします。

答 平成27年度から28年度、内科医師2名、整形外科医師1名、神経内科医師2名、精神科医師1名、計6名の医師が減り、加西病院が最も強い内科、神経内科、精神科の医師が減少したため、28年度は大きな患者減となりました。

ただ、新しい専門研修医制度が来年から始まります。内科を専門研修の場として提供し、基幹病院になることで、3名の受け入れ枠が発生し、医師確保が図られると思われま

す。また、医師のあっせんを行う民間事業者に派遣をお願いしており、その紹介により8月に泌尿器科医師を採用しました。患者さんもふえ、泌尿器科の手術も可能となることで、医療サービスの充実が図られていくと考えております。

問 病棟の耐震性について、西館、東館、本館の状況をお聞きます。また、病院の将来性についてお伺いします。

答 西館は平成15年建築。東館は昭和59年、本館は昭和49年建築で、昭和56年の新

耐震基準の改正に合致していないのは本館です。

(市長) 平成21年から基本的には経営も含め、全責任を事業管理者が負う体制となり、一定の成果も得ていますが、国全体の大きな流れの中で、医師の都市部や大病院への偏在が強力に進行し、地方の公立病院は、勝ち残っていけない状況になっています。

まず市民の皆さんが加西病院に望んでいるものをしっかりと把握したい。

そして耐震化に合致していない状況ですが、建っているところが非常に頑丈で、中央棟の敷地に建て直すのか、別の方法か、その選択については、もう少し時間を頂戴したい。

加西病院がどういう機能を担うのかを見定めるためにはもう少し時間が必要ではないかと思っております。

加西病院の現状について

一般質問



長田 謙一 議員
(21 政会)

問 加西病院の提供している医療業務はどのようなものか。

答 加西病院の医療機能としては、専門外来と、救急では二次救急を担っています。さらに、リハビリを行う回復期医療も実施しています。

専門外来は、内科の糖尿病、肺疾患、消化器、肝臓病、心臓病や小児科での脳神経、腎臓外来です。眼科では、緑内障、白内障等の手術、入院加療も行うこともできます。

また、地域のかかりつけの医院と自治体病院との連携が重要な役割を果たしていると考えています。

問 地域タウンミーティングで何が議論されたのか。

答 市内10ヶ所で行いました。当初、病院に対し否定的な意見が多いのではと心配していましたが、建設的な意見や、病院改革の希望等、大変ポジティブな意見をいただきました。その中で、これまで急性期で、手術、治療が終われば14日間程度で他の病院、施設へ転院であったのが、もう少し長い期間加西病院で看れるようになったことで、多くの喜びの声を聞きました。

また、院長は、今までは医療人が思う医療を行ってきたが、これからは地域住民が求める医療を行

い、市民が希望する医療に取り組みたいと言っており、病院としてそのように進めていきたいと考えています。

問 現状の加西病院の緊急医療体制について。

答 現在の救急医療の受け入れ体制は、平日は医師1名、内科系または、外科系医師1名が常時入り、21時までは内科、外科の組み合わせで救急体制をとっています。

また、土曜、日曜日については内科、外科の2科受診できる状況を確認しており、市内外を問わず24時間体制で対応できます。

特に、急性心筋梗塞の患者さんについては、消防本部から循環器の医師へのホットラインにより、24時間、常に受け入れ可能としています。

米政策の現状と今後の見通しについて

一般質問



三宅 利弘 議員
(21 国会)

問 平成 30 年度の水稲作付及び転作について、どこがどう変わるのか。

答 これまで、50 年近く続けられてきた米の生産調整が、平成 30 年度の作付けから見直されます。

米に関する見直しは、次の 2 点で、まず 1 点目は、国から県、市を通じて集落や生産者に伝達通知されていた主食用米の生産数量目標の配分がなくなったこと。2 点目は、平成 22 年度から継続され

ていた、米の直接支払交付金（10 a 当り 7,500 円）が廃止されます。

また、生産調整方針の基本的な仕組みは、引き続き存続し、麦、大豆、加工用米、飼料用米といった戦略作物等に対する助成措置である水田活用の直接支払交付金などは、引き続き交付される予定です。

農林水産省は、平成 30 年度概算要求においても、平成 29 年度と同単価で財務省に現在要求しています。

また、産地交付金についても、地方への配分は少なくなりつつあり、農作物への配分など行先が不透明な状況ですが、継続される見通しです。

問 生産調整の進め方と今後の見通しは、どうなるのか。

答 国からの生産調整の配分がなくなると平成 30 年度からの米の作付面積をどうやって決めるかということですが、30 年産から生産数量目標に縛られずに米の生産が行える環境になり、過剰作付けは、米余りを引き起こし、米価の下落を招く恐れがあることから、今後も自主的な生産調整、いわゆる減反は必要だと考えています。

また、県、市としましては、生産者の皆様が、安心して米の作付けができるよう情報提供してまいります。

■その他の質問項目

- ・日本型直接支払制度について
- ・加西農業振興地域整備計画の策定について

泉地区就学前施設の統廃合について

一般質問



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 各地区の説明会で全体の報告をされた感想について。

答 泉地区では、300 人を超える方の参加があり、厳しい反対意見、存続決議の意見書の提出もありました。他の校区におきましても、一部反対意見もありましたが、一日も早い設置という要望も出されており、おおむね理解いただいたという認識です。

問 泉地区のまちづくりの原点は子育て支援です。小学校だけでなく、就学前の施設も大

事にし、活性化を図ろうと取り組んでいます。今、行政と一体の取り組みを見守る意味でも泉地区が施設の存続を訴えられているのは当然ではないか。

答 (市長) こども園の大事な課題で、通園距離をどうカバーするかという中で、泉校区は一番先進的に地域主体型交通に取り組んでいただいています。市全域の子育て施策が充実する方向へ、地域と一緒に作った枠組みをつくっていかねばと思っています。

問 泉幼稚園の世帯の多くはリターン組です。新規居住者住宅用地の利用は困難ですが、今までの制度の活用や、空き家の活用等、手立てを尽くして帰ってこられています。小学校が新しくなり、就学前の施設も身近にあるからこそ決断されたと思うが。

答 (市長) 地域を狭くこれだけでしかないと思える必要はないと思います。今度できることも園も我々の地域の施設であるという思いを持っていただけるような施設にしていきたい。

問 泉地区は幼稚園児の見守り活動から始まった子育て支援センターがある。今の幼児園体制の中で、先生方の業務負担が大きい課題があるが、協議しながら地域と一体の施設をつくっていかねばと思う。存続について検討の余地は。

答 (市長) 地域での子育て支援について行政としてどう言えないが、泉幼稚園の存続はあり得ません。市全体の施策の中で進んでおり、存続させることは市全体が大混乱を起こすと思っています。

市・社協の相談業務について

一般質問



丸岡 弘満 議員
(自民の風・誠真会)

問 市が実施している相談業務と内容は。

答 市民相談は、土地や住宅に関する相談、相続や財産に関する相談、また家族関係や結婚・離婚に関する相談などです。

消費生活相談は、通信販売トラブルや店舗で購入したものに対する相談、電話勧誘・訪問販売に関する相談などです。

問 社協が実施している相談業務と内容は。

答 法律相談は、相続や財産関係が多く、住宅・生計・離婚問題などが主な相談です。

心配ごと相談は、介護福祉に関することが多く財産・事故関係など専門的な事案は、法律相談や消費生活相談窓口へつないでいます。

窓口ボランティア相談は、ボランティアを行う上での必要な種々の相談を受けている状況です。

問 市、社協の相談業務のワンストップサービス、窓口の一本化が必要ではないか。

答 市としても高齢者や障がい者、子育てなどの窓口を総合化、一本化は目指すべき方向で考えております。

問 法律相談で内容や待合のプライバシーに配慮がない。社協も業務が重荷になっていると

の声がある。改善が必要と考えるが。

答 どちらも聞いております。プライバシーや個人情報保護に配慮した相談体制がとれるように、事前の相談会場などを大きな会議室に移したり、パーティションでしっかりと区切る形で対応しており、改良を図っています。また、相談件数の少ない日などは、執務していただく福祉委員の数を調整するなど、現在、社協とも協議を行っており、両者が協力し、よりよい相談体制を構築できるように努めてまいりたいと思います。

■その他の質問項目

- ・安全安心なまちづくりについて
- ・人口増対策について
- ・泉地区就学前施設整備基本計画について

加西病院は生き残れるかについて

一般質問



植田 通孝 議員
(自民の風・誠真会)

問 医師の大幅な流出に起因する、外来患者と入院患者の減少がもたらす医業収益の大幅な減少は、病院経営を厳しい状況に追い込んでいる。

一般企業であればもう倒産だ、会社整理だという厳しい意見のある中で、この度、副市長が病院再建の担当に就かれたようですが、加西病院をどう再建されるお考えなのか。

答 (副市長) まず、4月の人事異動でエース級を数名、加西病院の事務局に投入しました。

新臨床研修医制度により、医師の都市部への集中と大病院への集中の流れの中、医師の確保が難しい状況であるが市として手当等で、できるだけの支援を行い、医師の確保に努めていきたい。

5分、10分を争う救急患者の治療には、近くの加西病院の重要度は高く、存続を図りたい。その際、特定の診療科目に特化する可能性もあります。また、長期間入院できる地域包括ケア病棟も考えています。

そして、医師の確保は、あらゆる手段を尽くして行います。

病院内の環境改善も図ります。

タウンミーティングにより加西病院の現状と市民と地域に必要な医療について説明し、加西病院は

どうしても必要であることを再認識していただき、今後も健全な形で存続できるように加西病院をできるだけ利用していただくようお願いしました。

加西病院市民応援隊を老人会を中心に結成していただきました。ありがたいことです。

市民の皆さんに関心を持っていただき、市民の皆さんの協力を期待しているところです。

この問題に関しては、市民の皆さん方の関心の輪が広がって、それぞれの持ち分の範囲で皆さん方のご協力によって大きく改善できる問題で、特定の人が頑張っても大きく改善できる問題ではないと思っています。

■その他の質問項目

- ・ホテル建設の進捗状況について

上程された議案は、それぞれ所管の総務委員会と建設経済厚生委員会に付託し、審議を行いました。

企業立地

議案第 42 号 加西市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について **建設**

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部を改正する法律（平成 29 年法律第 47 号）の施行に伴い、引用する条文に条ずれ等が生じたため所要の改正を行うもの。

問 法の趣旨はどのように変わったのか。

答 地域の産業集積を図っていかこうとする取り組みから、地域の中核企業が地域を牽引する事業者としてコンソーシアムを組み、企業グループを作っていくような取り組みに変わりました。



問 これまでは、産業集積された産業団地の企業に対しての援助であったが、今後は地域経済活性化の影響を与える企業に対して援助していくことになるのか。

答 産業団地は重点促進区域として緑地規制緩和などを行うとともに、市内全域を促進区域にして優遇措置が受けられるようになっていきます。

農業委員会

議案第 44 号 加西市農業委員会委員等の定数に関する条例の制定について **建設**

農業委員会等に関する法律（昭和 26 年法律第 88 号）の規定に基づき、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるもの。

- ①定数：農業委員会委員 9 名、農地利用最適化推進委員 15 名
- ②農地利用最適化推進委員の報酬を規定
(月額 2 万 4,900 円)
- ③加西市農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例の廃止

問 農業委員会の会議の形態や最適化推進委員の意見を述べる機会について。

答 毎月の農業委員会に最適化推進委員も含めて全員に出席いただき、まず、最適化推進委員から現場の報告を受け、意見交換をしたのち、農業委員だけで審議を行うことになると考えています。



問 最適化推進委員は、会議への出席、現場での活動など多くの業務があるが、その報酬は農業委員と比較して妥当な金額なのか。

答 現場の業務が全て最適化推進委員に移るわけではなく、農業委員にも現場業務はあり、加えて、農業委員は許可業務の審議の責任を負っていただくことになるため、金額に差が出ています。

消 防

議案第 45 号 北はりま消防組合規約の一部変更について **総務**

平成 30 年 4 月 1 日より、北はりま消防組合本部事務所が西脇市に移転することに伴い、北はりま消防組合規約を変更するもの。

問 消防本部が移転することによる影響について。



答 消防本部の機能は、組織管理が主であり、救急活動、消防活動については、これまでどおり各署所が対応にあたるため、市民生活への影響はありません。



補正予算

議案第 49 号 平成 29 年度加西市一般会計補正予算(第 2 号)について

総務
建設

【歳出】

- ・企画費(1,990万7,000円)
北条鉄道の車両の修繕等に伴う整備費補助金、
経常損失にかかる運営費補助金の増
- ・市民参画推進費(405万6,000円)
国の交付金を活用した地域少子化対策重点推進
事業委託料等の増
- ・道路新設改良費(2,944万円)
鶉野飛行場線にかかる調査測量委託料及び用地
購入費の増等
- ・都市計画総務費(1,600万円)
加西インター周辺地区の新産業団地整備にかか
る測量設計委託料の増

問 加西インター周辺地区に整備する新産業団地の面積について。

答 地元との調整や市内企業へのアンケートなどにより、新産業団地用地としては約 50 ヘクタールの候補地を検討しています。

問 市道鶉野飛行場線の用地買収と工事の進捗状況について。



答 用地については延長約 2,500 メートルのうち平成 29 年度末で約 50%の購入が完了する予定であり、工事については用地買収に少し時間がかかりましたが、平成 31 年度完成を目指していきます。

討論【賛成】 鶉野飛行場周辺の道路整備については、起点終点などの位置や事業の責任主体なども含めての全体計画を明確するように努力していただきたい。

問 地域少子化対策重点推進事業について。

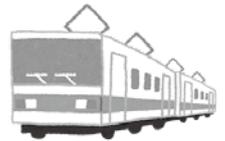
答 ノウハウを持つ民間事業者に出会いサポートセンターの運営を委託して、出会いサポートセンターを養成し、結婚を希望する男女をマッチングしていただくとともに、ファッションや話し方、話題づくりなど、自分のスキルを高める講座を実施したり、婚活イベントなどを開催して、未婚率の改善を図っていきたく考えています。



問 北条鉄道の車両修繕について。

答 現在の車両は購入から 15、6 年経過しています。一般的に車両は、約 40 年使用でき、整備すれば、まだ十分使用できるが、15 年も経過すると部品の調達が

困難となってくる。今後、修繕費用は、少しずつ増えていくと見込まれますが、まだ新規車両を購入する時期には至っていません。



議案第 61 号 平成 29 年度加西市一般会計補正予算(第 3 号)について

総務

【歳出】

- ・児童福祉施設費 5,960 万円
(仮称) 泉こども園整備にかかる設計委託料及び
用地購入費

問 事業費の内訳について。

答 設計委託料と用地購入費を計上しており、用地購入費には、(仮称) 泉こども園用地のほか、将来の移転を見据えた北部公民館建設のための用地も含まれています。



問 こども園の建設予定地について、加西消防署北分署の近くを選定した理由について。

答 各地区からの中間地点であることに加え、南北と東西に県道が通るなど、非常にアプローチのいい場所であることから、この場所を選定しました。

問 新しい大規模のこども園では、小規模園の良さを取り入れて、生かすことができるのか。

答 小規模園の良さである、地域との親密な関わり合いを継続していき、地域の行事へ誘っていただくなどの関係づくりを、大事にしていきたいと考えています。

討論【賛成】 加西市全体で幼保施設の統合を進めていることから、加西こども園、北条西こども園と同等に進められるべきである。

施設の老朽化が進んでおり、新しく大きく立派な施設の中で、のびのびした教育を行ってほしい。

子育てを前面に押し出した取り組みを行っていることから考えると、新しい施設で教育を行っていくことは大切である。地域の方々にしっかり説明し、意見を聞きながら進めてほしい。

討論【反対】 評価されている宇仁のまちづくり協議会は、活動の原点である子育て施設がなくなると衰退することになる。統廃合によって、人口が増えたところはなく、人口を増やすことに重点をおき、考え直していただきたい。保護者や地域からの反対もあり、未だ新しいこども園への不安が解消されていない。

討 論

討論とは、表決の前に賛成か反対かの自己の意見を表明することです。(発言順に掲載)

議案第 61 号 平成 29 年度加西市一般会計補正予算(第 3 号)について —【歳出】(仮称) 泉こども園整備にかかる設計委託料及び用地購入費—

可決 (賛成 12、反対 2)

各地域の説明会で多く出た反対意見や決議書、約 1,700 筆の反対署名の問題に対し、特に慎重かつ丁寧な議論や審議が必要であり、答申にある「保護者、地域の声を十分に聞いて進めること」が実施されていない。また総合計画や行革プラン、公共施設等総合管理計画に明記されていない北部公民館の土地取得や建設事業費を明確に示さないままの予算計上は時期尚早である。

反対



丸岡弘満 議員



森元清蔵 議員

賛成

既存の施設は、保育室の面積が小さく、ゼロ歳児の受け入れなど、様々な保育ニーズに対応できない状態である。また、待機児童の問題を解消するには、大規模化で職員体制を整え、こども園化するしか解決はないと考える。職員体制が整うことにより、研修の充実、資質の向上につながり、3歳児からの幼児教育、特別支援教育など教育の質も向上できると考える。

5万人都市再生、そのための各地域のふるさと創造会議の活動は、各地域が主体性を持って自分たちがどんなまちづくりをしていくか、それをしっかりと根幹に据えて取り組むことが求められていたのではないかと。宇仁地区はその立場で世代を超え奮闘されている。まちづくりの原点に、たとえささやかであっても今ある施設を、欠くことができない。

反対



井上芳弘 議員



長田謙一 議員

賛成

10年、20年先の加西市の発展を願うのは、加西市民、北部地域の考え方で認識している。宇仁幼稚園については、現在の設備のまま残すには無理がある。設備の整った園舎、子育てしやすい環境に移行し、未来の加西北部地域を活性化しようではありませんか。旧泉町は今でも一つであり、少子化の今、現状をしっかりと見つめることが必要である。



織部 徹 議員

賛成

今回、取得予定の場所は、泉校区のほぼ中間地点であり、東西南北ともに広い道路が通り、送迎にも適し、最適の場所と考える。また、現在の北部公民館は、施設の老朽化や、駐車場からの急な坂道や階段により、高齢者や子供にとって好ましい場所とは言えない。この際(仮称)泉こども園の横に整備するために土地を取得することは良策と考える。

決 議 案

決議案第 2 号 北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核実験に対する 抗議決議(案)について

可決 (賛成 13、反対 1)

北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核実験に対する抗議決議

北朝鮮は、我が国の上空を通過する弾道ミサイルを立て続けに発射し、9月3日には6回目の核実験を強行した。北朝鮮の度重なる暴挙は、国連の安全保障理事会決議等に明確に違反するものである。我が国を含む地域及び国際社会の平和と安全に対する重大かつ差し迫った脅威であり、断じて容認できない。

加西市議会は、北朝鮮に対して強く非難し、断固抗議するとともに、核及び弾道ミサイル計画を全面的に放棄し、朝鮮半島の非核化に取り組むことを強く求める。

政府は、北朝鮮の暴挙を食い止めるため、国際社会と一致団結して最大限の圧力をかけるとともに、不測の事態に備えて必要な態勢をとることを求める。同時に、我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる重大な問題である日本人拉致問題を埋没させることなく、包括的かつ早急な解決を図られるよう強く求める。

第267回 加西市定例会議決結果一覧

平成29年9月1日～9月25日

■賛否の分かれた議案（採決順に掲載）

○…賛成 ×…反対

議案	深田真史	丸岡弘満	原田久夫	中右憲利	長田謙一	衣笠利則	松尾幸宏	植田通孝	黒田秀一	井上芳弘	三宅利弘	森元清蔵	織部徹	森田博美	土本昌幸	議決結果
議案第61号 平成29年度加西市一般会計補正予算（第3号）について	○	×	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛12、反2)
議案第52号 平成28年度加西市国民健康保険特別会計の決算認定について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案認定 (賛13、反1)
議案第54号 平成28年度加西市後期高齢者医療特別会計の決算認定について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案認定 (賛13、反1)
決議案第2号 北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核実験に対する抗議決議（案）について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)

■全会一致で同意、可決、認定した議案

- 議案第40号 監査委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案第41号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案第42号 加西市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第43号 加西市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第44号 加西市農業委員会委員等の定数に関する条例の制定について
- 議案第45号 北はりま消防組規約の一部変更について
- 議案第46号 農作物共済の無事戻金の交付について
- 議案第47号 畑作物共済の無事戻金の交付について
- 議案第48号 園芸施設共済の無事戻金の交付について
- 議案第49号 平成29年度加西市一般会計補正予算（第2号）について
- 議案第50号 平成29年度加西市介護保険特別会計補正予算（第1号）について
- 議案第51号 平成28年度加西市一般会計の決算認定について
- 議案第53号 平成28年度加西市介護保険特別会計の決算認定について
- 議案第55号 平成28年度加西市公園墓地整備事業特別会計の決算認定について
- 議案第56号 平成28年度加西市宅地造成事業特別会計の決算認定について
- 議案第57号 平成28年度加西市農業共済事業会計の決算認定について
- 議案第58号 平成28年度加西市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
- 議案第59号 平成28年度加西市下水道事業会計の決算認定について
- 議案第60号 平成28年度加西市病院事業会計の決算認定について

市議会トピックス

■ 請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

12月定例会での取り扱いを希望される場合は、11月22日（水）17時までにご提出ください。

■ 市民との意見交換会を開催します

加西市議会では、「市民との意見交換会」を実施しています。昨年度は、4団体と実施しました。今回は、以下の団体と実施します。

- 11月16日（木） 北条高校・播磨農業高校PTA
テーマ：「高校の活性化について」
- 11月17日（金） 加西市商店連合会
テーマ：「市内商業の活性化について」

■ 建設経済厚生委員会が懇談会を実施しました

8月8日に加西市社会福祉協議会と「加西市社会福祉協議会の現状と課題について」をテーマに懇談会を実施しました。

■ 平成29年度 行政視察受入実績

4月以降7件の視察を受け入れています。

月日	団体名	調査事項
5月19日	兵庫県丹波市議会	保育料軽減の取り組みについて
5月25日	山口県山口市議会	新規就農支援の取り組みについて
7月19日	宮城県村田町議会	ほ場整備及び農業法人化について
8月9日	兵庫県丹波市議会	太陽光発電施設の設置に関する指導等の状況について
8月10日	兵庫県篠山市議会	北条高校活性化協議会について
10月11日	岡山県新見市議会	議会改革の取り組みについて
10月18日	北海道紋別市議会	ふるさと納税について

(10月現在)



懇談会の様子

■ 平成29年12月 加西市議会定例会の予定

月日	時間	会 議
12月1日(金)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議（提案説明等）
12月5日(火)	15:00	発言通告期限（質疑・一般質問）
12月11日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議（質疑・一般質問）
12月12日(火)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議（一般質問）
12月13日(水)	10:00	本会議（予備日）
12月14日(木)	10:00	建設経済厚生委員会
12月15日(金)	10:00	総務委員会
12月21日(木)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議（最終日：委員長報告・採決）

ぜひ傍聴にお越しください!



インターネット
議会中継
(ライブ・録画)

加西市議会

検索



発行 加西市議会
編集 議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾1000
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 森元清蔵
委員 植田通孝
委員 三宅利弘

副委員長 井上芳弘
委員 松尾幸宏
委員 森田博美